

まほろば秦野通信

令和4年10月14日

タイトル	参加者募集 第4回 ミュージアムさくら塾 富士山宝永噴火の被害と復興 ー秦野市域に残された史料を中心にー
When (いつ)	11月19日(土曜日) 10:00~12:00
Where (どこで)	はだの歴史博物館 第1企画展示室(講演会室) (所在地: 秦野市堀山下380-3)
Who (だれが)	二宮町文化財保護委員会委員 古宮 雅明 氏
What (なにを)	<p>富士山は、今からおよそ300年前の宝永4年11月23日(太陽暦1707年12月16日)に大噴火を起こしました。噴火そのものは約2週間で終息しましたが、噴出された膨大な量の火山灰が神奈川県域に大量に降り積り、生産・生活の社会インフラが壊滅的打撃をうけて大災害となり、復旧も困難を極めました。</p> <p>そこで、この講座では秦野市域に残る史料や最近の発掘調査の成果などを紹介しながら、被災の状況と被災地住民の動向、復旧・復興への公権力の対応など、未曾有の災害に遭遇した人々の苦難の歴史を辿ります。</p>
How (どのように)	【定員】 50人 【費用】 1人200円 【申し込み】 はだの歴史博物館に電話で申し込み(申込先着順、11月1日(火)から受け付け)
Why (なぜ)	宝永の富士山噴火についての知識を深めるため。
過去の実績	<ul style="list-style-type: none">この事業は平成18年度からスタートしています。令和4年度開催実績 第1回:「秦野の古道・大山道」 第2回:「秦野と大山詣り」 第3回:「吾妻鏡を読むー源実朝暗殺事件を中心に」
今後の取り組み	秦野市及び周辺地域の歴史文化をテーマとした内容で、今後もさまざまなテーマで開催していきたいと考えています。
問い合わせ	はだの歴史博物館 担当: 山口 克彦 電話: 0463(87)5542